

6 地域づくりについて

Ⅱ 環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりについて

担当部課：総合政策部政策局社会資本課
(011-204-5133/内線 23-712)

◆調査の目的

限られた財源の中で北海道にとって必要な社会資本の効果的・重点的な整備を進めていくために、道民のみなさまのご意見をお伺いし、今後の社会資本整備重点化方針の検討などに役立てるもの。

◆各設問の主な調査結果

問1 今後、整備が必要な社会資本の分野（複数回答）

- ①保健・医療・福祉基盤：病院、介護老人福祉施設など（78.5%）
- ②生活基盤：公園、上下水道、公営住宅、送電施設など（36.5%）
- ③教育・文化施設：学校、文化施設など（28.1%）

問2 限られた財源の中で、社会資本整備を進めていくときの考え方

- ①整備が急がれる社会資本を優先し、そうでもないものは整備が遅れてもやむを得ない
(43.1%)
- ②どちらともいえない（28.2%）
- ③全体の整備が遅れても、特定の社会資本の整備を優先せず、必要な社会資本はすべてにわたって整備を進める（26.4%）

問3 今後10年間の社会資本整備で重視すべきと考える視点（複数回答）

- ①ゆとりと安心を実感できる暮らしの形成（54.0%）
- ②強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮（50.3%）
- ③人と自然の共生を基本とした環境の保全と創造（46.8%）